



これからの東京を話そう

こどもワークショップで 話し合ったこと

東京2025世界陸上

～大会を通じて、わたしたちが実現できること～

2024年8月20日（火）実施

みなさんから
聞いた意見は
今後のアクションに
つなげていきます



これからの東京を話そう

こどもワークショップで話合ったこと

話し合いをビジュアル化する「グラフィックレコーディング」で、子供たちの意見やアイデアをまとめました。



こどもワークショップ

2024年
8月20日(火)

WORLD ATHLETICS
CHAMPIONSHIPS
TOKYO 25

東京2025
世界陸上

2025年9月13日-9月21日
国立競技場

オープニング

100人から応募があった！
料 世界陸上の東京開催決定！！
1991年に開催された以来2回目
開通でアスリートが見る貴重な機会！！
いよいよみんなが見る東京の良さを伝える
今年こそは東京の良さを伝えたい！！

ゲストアーティスト
福島千里



リポート
選手と選手



選手と選手



国立競技場
ツアー



今日は
このスタジアム
を歩こう



国立競技場

世界陸上について

選手数 2000人！ 210国

種目数 49種目 (男子24、女子24、混合1)

TYO 東京2025

世界陸上

世界陸上

世界陸上

世界陸上

世界陸上

世界陸上

世界陸上

世界陸上

世界陸上

世界陸上

世界陸上

世界陸上

世界陸上

世界陸上

世界陸上

世界陸上

世界陸上

世界陸上

テーマ2

選手への応援の
気持ちを伝える取組

選手への応援の
気持ちを伝える取組

選手への応援の
気持ちを伝える取組

選手への応援の
気持ちを伝える取組

選手への応援の
気持ちを伝える取組

選手への応援の
気持ちを伝える取組

選手への応援の
気持ちを伝える取組

選手への応援の
気持ちを伝える取組

選手への応援の
気持ちを伝える取組

選手への応援の
気持ちを伝える取組

選手への応援の
気持ちを伝える取組

選手への応援の
気持ちを伝える取組

選手への応援の
気持ちを伝える取組

選手への応援の
気持ちを伝える取組

選手への応援の
気持ちを伝える取組

選手への応援の
気持ちを伝える取組

選手への応援の
気持ちを伝える取組

選手への応援の
気持ちを伝える取組

選手への応援の
気持ちを伝える取組

テーマ4

環境にやさしい大会の実現

環境にやさしい大会の実現

環境にやさしい大会の実現

環境にやさしい大会の実現

環境にやさしい大会の実現

環境にやさしい大会の実現

環境にやさしい大会の実現

環境にやさしい大会の実現

環境にやさしい大会の実現

環境にやさしい大会の実現

環境にやさしい大会の実現

環境にやさしい大会の実現

環境にやさしい大会の実現

環境にやさしい大会の実現

環境にやさしい大会の実現

環境にやさしい大会の実現

環境にやさしい大会の実現

環境にやさしい大会の実現

環境にやさしい大会の実現

環境にやさしい大会の実現

環境にやさしい大会の実現

テーマ3

大会の運営に参加する取組

大会の運営に参加する取組

大会の運営に参加する取組

大会の運営に参加する取組

大会の運営に参加する取組

大会の運営に参加する取組

大会の運営に参加する取組

大会の運営に参加する取組

大会の運営に参加する取組

大会の運営に参加する取組

大会の運営に参加する取組

1

海外の人を招くには

海外の人を招くには

海外の人を招くには

海外の人を招くには

海外の人を招くには

海外の人を招くには

海外の人を招くには

海外の人を招くには

海外の人を招くには

海外の人を招くには

海外の人を招くには

海外の人を招くには

海外の人を招くには

海外の人を招くには

海外の人を招くには

海外の人を招くには

海外の人を招くには

海外の人を招くには

海外の人を招くには

海外の人を招くには

海外の人を招くには

海外の人を招くには

2

選手と選手

選手と選手

選手と選手

選手と選手

選手と選手

選手と選手

選手と選手

選手と選手

選手と選手

選手と選手

選手と選手

選手と選手

選手と選手

選手と選手

選手と選手

選手と選手

選手と選手

選手と選手

選手と選手

選手と選手

選手と選手

選手と選手

東京2025 世界陸上

～大会を通じて、わたしたちが実現できること～

〔開催日〕2024年8月20日（火）〔場所〕国立競技場

2025年に開催される世界陸上について、
子供たちが大会でやってみたいことや、よりよい大会にするためのアイデアを
元陸上短距離選手の福島千里さんと一緒に話し合いました。
みなさんの声と、その声をもとにした東京都の取組や受け止めを紹介します。

小学生に聴いたこと

- ✓ 大会を通じたスポーツ体験
- ✓ 選手への応援の気持ちを伝える取組

中学生に聴いたこと

- ✓ 大会の運営に参加する取組
- ✓ 環境にやさしい大会の実現

ワークショップの流れ



1

ツアー

国立競技場を見学しました。

2

話し合い

グループになって
自由に意見を出し合いました。

3

みなさんの声

紙に書き出して、いろんな意見が
見えるようにしました。

4

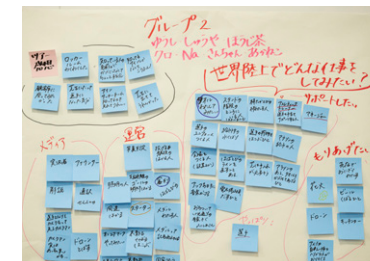
発表

自分で考えたことや
グループで話し合ったことを
みなさんに伝えました。

5

声を届ける

東京都の職員に、みなさんの声を
届けることができました。



みなさんの意見やアイデア



✓ 大会を通じたスポーツ体験について

全種目を体験してみたい。

競技を実際に体験しその面白さを

知ってもらふことで興味を持つ人が増え、
人気が出るきっかけになる (小5)

やり投げや砲丸投げなら
やってみたい (小4)

国立競技場を使って

スポーツ体験をしてみたい (小6)

選手が実際に
使っているものを
さわりたい (小4)

自分のタイムと選手のタイムを
比べられたらいい。

体の大きさも比べられるといい (小4)

(みんなが興味をもつには)
大谷選手のグローブのように
学校に寄付するとよい (小6)

意見への受け止め



- ・イベントで立ち幅跳びやターゲット
スロー等の体験ブースを展開します。
- ・大会中、会場を使用して子供向けの

- ・陸上競技体験イベントを開催します。
- ・世界陸上の記録、備品、歴史等の展
示・体験スペースを設置します。

みんながスポーツに興味をもつには、
やり方やルールを知って、
実際に体験してもらうと効果的 (小4)

選手が学校に
教えに来てくれたら
いいと思う (小4)

選手と走ることができたら、
きっと走るのが
楽しくなる (小5)

競技にかかわる
きっかけがあるともっと興味を
もつことができる (小5)

学校の行事として
競技体験を
実施してほしい (小4)

有名人やアイドルグループに
体験・発信してもらうと、みんなが
競技を体験したくなると思う (小5)

意見への受け止め



- ・陸上競技の解説や上達するトレー
ニングを紹介する冊子を配布します。
- ・陸上競技の指導者等を学校に派遣
し、走り方講座を実施します。
- ・都内のスポーツ施設で子供向けス

- ・スポーツ体験教室等を行います。
- ・織田裕二さん、北口榛花選手、サニ
ブラウン選手などをアンバサダーに
起用し、テレビ番組と連携するなど
キャンペーンを展開します。

✓ 選手へ応援の気持ちを伝える取組について

応援の手紙を
選手に届けたい (小5)

海外の選手にその国の言葉で
気持ちを伝えられるとよい (小5)

メッセージを書いた紙吹雪を使うと、
選手に喜んでもらえると思う (小5)

選手全員にメダルをプレゼントしたい。
折り紙で作るのもいいので、
応援している気持ちを伝えたい (小5)

SNSを使うと、
選手に応援が届けやすいと思う (小5)

意見への受け止め



- ・応援メッセージを集め、各国選手が
目にする場所に掲示するほか、大会
の演出に使用します。

- ・アスリートと連携したキャンペーン
など、公式SNSで「世界陸上」応援
キャンペーンを行います。

(歓迎の気持ちを伝えるのに)
日本ならではのものを
使えるとよい (小4)

多くの子供たちが国立競技場で
応援できるようにするとよい (小5)

(海外からも応援に来てもらえるように)
チケットと観光ツアーを
セットにするのがいい (小5)

意見への受け止め



- ・歓迎・応援の気持ちを伝える日本・
東京ならではのおもてなしとして、
生け花展示等、日本の文化について
鑑賞・体験できる機会を設けます。
- ・大勢の観客に応援してもらうため、

- ・パッケージツアーの販売など、“フ
ルスタジアム”に向けたチケット販
売を促進します。
- ・都内に在住・在学の18歳以下の子
供等を観戦に招待します。

大会の運営に参加する取組について

大会にかかわる式典など、
大会運営に参加してみたい (中1)

選手を直接サポートできる
活動がしたい (中2)



・選手等のエスコートなど、大会運営に子供たちが直接参加して、選手・関係者をサポートする機会を作ります。

競技運営 (スターター・審判など) や、放送関係 (アナウンサー・カメラマンなど) に携わってみたい (中1・中2・中3)

意見への受け止め

・大会中、世界陸上の仕事や資機材など、普段は見られない大会の裏側を見学できる機会を作ります。

いろんな選手と話ができる
仕事がしてみたい (中3)

子供の視点で
選手にインタビューが
できるとよいと思う (中2)

(東京2020大会の時は)
自分で新聞を書いた。書いた新聞を
選手に見てもらえたら嬉しい (小4)



・子供たちが記者として、選手、関係者、イベントの取材を行い、取材内容を発信する「こども記者プログラム(仮称)」を実施します。

ユニフォーム等の素材や
デザインを考えてみたい (中2)

大会マスコットは
スタイリッシュなものに
してほしい (小5)

意見への受け止め

・大会のマスコット制作に子供たちの意見を反映し、ネーミング投票を実施しました。

※1 ZEV (ゼロエミッション・ビークル)：走行時に二酸化炭素等の排出ガスを出さない車

※2 次世代型ソーラーセル：「薄く軽くフレキシブル」な、日本生まれの太陽電池

※3 SAF (Sustainable Aviation Fuel)：「持続可能な航空燃料」のこと。
廃食用油などを原料とし、従来の化石燃料に比べてCO2削減効果が期待される

環境にやさしい大会の実現について

選手の移動に電気や水素を、会場等では
ソーラーパネルを活用できるといい (中1)

関係者の移動を公共交通機関にすると、
排気ガス削減につながると思う (中2)

(暑さ対策として) ミストを使うと、
来ている人が涼しくなる (中3)



・ZEV※1やバイオ燃料、次世代型ソーラーセル※2など、再生可能エネルギーを活用します。
・公共交通機関の活用により関係者輸送の省エネルギー・CO2削減を推進します。
・来場者用のミストファンや飲料配布

マイボトルを持ってきて、
プラスチック削減 (中3)

競技後にゴミを拾う観客の姿が
話題になって、世界に広がるといい (中2)

環境対策について、世界陸上が
良いアピールの場になると良い (中3)

意見への受け止め

・等、効果的な暑さ対策を実施します。
・マイボトルの推奨やペットボトルの水平リサイクル、ゴミ拾いイベントなどを実施します。
・SAF※3の原料となる廃食用油の回収など、大会を通じて環境配慮の取組をPRします。

ワークショップの感想とお礼

こんなに自由に話し合えたのは初めて。
話しやすくて楽しかった (小4)

国立競技場や、世界陸上の事を身近に感じられた。実際に使われたものを真近に見たり、使ってみたりしたのがとても楽しかった (小6)

自分の意見が直接、東京都や関係者に伝わり、みんなできつくりと考え、意見を樹立した甲斐があった (中2)

東京都のまとめ



自分の意見を自由に話せるだけでなく、ほかの人の意見もじっくり聴くことができたという声が挙がっていました。また、いろいろな見方で意見を出して、それをまとめあげ、直接大人に伝えられたのが良かったという声もありました。今回のワークショップでは一つの題材についてみなさんが自由に話し合い、いろいろな視点のアイデアを聴くことで、どんどん意見が深まってくのが分かりました。これからもみなさんが自由に意見を言える場を作って、声や思いを聴き、東京都の取組につなげていきます。

ワークショップの概要

テーマ

東京2025世界陸上

～大会を通じて、わたしたちが実現できること～

内容

東京都は、東京2025世界陸上の開催を通じてレガシーを創出し、東京の発展に繋げていくため、（公財）東京2025世界陸上財団と連携して準備を進めています。多くの人がスポーツの素晴らしさ、共生社会の大切さなどを実感できるよう、大会をよりよくするアイデアなどについて子供たちから意見を聴き、大会開催に向けて検討していくためのワークショップを開きました。

集まってくれた人数

18名 小学生（4～6年）：9名／中学生：9名

日時

2024年8月20日（火） 13時から16時まで

場所

国立競技場

担当局

生活文化スポーツ局



こどもワークショップってなに？

東京都は、子供の笑顔があふれる社会の実現を目指しています。

こどもワークショップは、社会の主役であるみなさんが

意見を出し合う場として開催しました。

東京都をもっとすてきな場所にするため、みなさんの思いや考えを聴きました。

なぜ、子供に聴くの？

子供は社会の一員であり、たくさんの権利を持っています。

子供の権利が大切にされ、みなさんが幸せに過ごせるように

「東京都こども基本条例」ができました。

東京都こども基本条例

● 子供を権利の主体として尊重

子供には、誰もが持っている当たり前の「権利」があり、大切にされます。

● 子供の最善の利益が最優先

大人は、子供に最もよいことは何かを第一に考えます。

● 子供の意見は大切

子供の意見は価値があるものです。

大人は、子供の意見にしっかり向き合います。



東京都は、学校や水道、病院、道路、公園等によってみんなの暮らしを支えたり、社会のいろいろな問題を解決するために取り組んでいます。そして、子供のための取組を考えると、主役であるみなさんの意見を大切にしたいと考えています。

東京都は、これからもいろいろな方法で

みなさんの思いや考えを聴いて、政策に積極的に取り入れていきたいと思っておりますので、これからもぜひご意見をください。

東京都こどもホームページに
みなさんの声が
掲載されています



[編集・発行]

東京都子供政策連携室 企画調整部 企画調整課

〒163-8001 東京都新宿区西新宿二丁目8番地1号

電話：03 (5388) 3812

E-mail：S1110301@section.metro.tokyo.jp

